

ブラジル大西洋沿岸林におけるジュサラ椰子 (Euterpe edulis) アグロフォレストリー普及支援による再生・保全活動

活動地域  ブラジル

ひろげる助成

3年目

実践

モデル圃場拡大面積 **5ha**

セミナー参加者 **320人**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **100%**



VERSTAジュサラ椰子AF支援TV収録

2019/08/30

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

ジュサラ椰子AF啓発セミナーの際、VERSTAブラジル代表が体調不良により倒れるトラブルがあったため、セミナー会場でアンケートを実施できなかった。

■ 工夫した点

ブラジル代表の体調回復を待ち、インターネットを利用したアンケートの実施をお願いし、アンケート票は回収率80%で回収できた。

課題

- ①ジュサラ椰子AF栽培農家の増加と栽培面積の拡大
- ②AF栽培及びAF果実栄養価の認知度の向上
- ③AF栽培支援者拡大とエコツーリズムの実用化研究

目標

- ①同沿岸林内のジュサラ椰子AF+二次林モデル圃場面積が250%増加する
- ②ジュサラ椰子AF+二次林モデル圃場栽培への参加農家が175%増加する

活動内容と成果

本年度は、【活動1】ジュサラ椰子AFプロジェクト会議及び技術交流会の実施、【活動2】ジュサラ椰子AFモデル圃場の拡大設置とフォローアップ指導の実施、【活動3】ジュサラ椰子AF学習会及びAF啓発セミナー等の実施、【活動4】エコツーリズムの導入支援の実施に取り組んだ。その結果、当支援事業によるモデル圃場の栽培面積は13ha（東京ドーム3個分）、樹木・果樹等の栽培本数は13,132本、参加農家は15農家に達した。また、ジュサラ椰子AF啓発セミナー等参加者は延べ1,026人に達した。

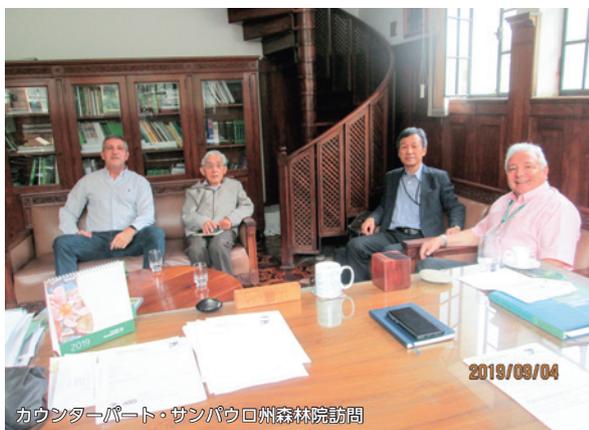


ジュサラ椰子AFプロジェクト会議

2019/08/29

全助成期間の活動を振り返って

今期の助成活動では、AF環境学習会では回収したアンケート票が入った鞆を載せたオートバイが盗難に遭ったり、AF啓発セミナーではアンケートを準備したVERSTA代表が会場で体調不良により倒れて実施できないとトラブルに見舞われた。今後は、さらに支援活動におけるリスクマネジメントを強化するとともに当NPO活動への若者参加プログラムを検討し、当NPO支援活動の持続可能性を高めていきたい。



カウンターパート・サンパウロ州森林院訪問

2019/09/04

〒103-0022
東京都中央区日本橋室町3-3-3 CMビル9F
電話：03-3270-0020
E-mail：verstaoffice@versta.org
HP：http://www.versta.org/



今後の展望

地球環境基金「入門助成（2012年度）」「一般助成（2014年度～2016年度）」「ひろげる助成（2017年度～2019年度）」により、ジュサラ椰子AF栽培面積は13ha、栽培本数は13,132本に達した。しかし、VERSTAによるジュサラ椰子AF栽培面積は、残存するブラジル国サンパウロ州大西洋沿岸林1,791,600haの0.0007%であり、今後も支援活動を継続し活動目的の実現を目指したい。